



2027年度

関西学院大学大学院人間福祉研究科入学試験【第1次】

【博士課程後期課程】

正規学生（社会人・外国人） 専門

受験についての注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
2. 問題用紙1部（本文1ページ）、解答用紙3枚が配付されます。過不足があれば監督者に申し出てください。
3. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号と氏名を正しく記入してください。
5. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHB 0.5mm以上の芯のシャープペンシルで記入してください。
6. 解答用紙は丁寧に扱ってください。
7. 解答は各問指定の解答用紙に記入してください。解答用紙の裏面にはいっさい記入してはいけません。下書きなどには問題用紙の余白を利用してください。
8. 解答用紙の枠外および問題番号と異なる番号のところに書かれた解答は、評価（採点）の対象としません。
9. 解答中以外の解答用紙は必ず裏返しに置いてください。
10. 受験中は不審な行動をとってはいけません。不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
11. 試験開始後60分間と、試験終了5分前以降は退場できません。ただし、気分が悪いなど身体の調子が悪くなった場合は、監督者に申し出てください。
12. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
13. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
14. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

- I 戦争・紛争は、平和で安寧な生活を奪い、ひとり一人の命の尊厳を踏みにじるものです。現在の世界情勢を見た時、人間福祉研究科で行う研究はどのような意味を持つのか、またどのようなことが期待されるのか、自分自身の研究テーマに引き寄せて、1,000字以内で論じなさい。(50点)
- II 次の設問から一つ選んで、800字以内で論述しなさい。なお、選択した設問の番号を解答用紙に記入すること。(50点)
- 1 2025年7月に日本社会福祉学会は会長名で「生活保護基準の引き下げを違法とした最高裁判所判決に関する会長声明」を出しました。声明は、「本判決は、生活保護基準の一連の引き下げ処分が、憲法第25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」を脅かすものであり、かつ生活保護利用者の生活の実情および審議会での議論を軽視して行われたことの問題性を指摘」したものだとし、この判決を高く評価しています(日本社会福祉学会「声明」<https://www.jssw.jp/activity/statement/>)。学会のこのような姿勢は、社会福祉学のどのような価値、また歴史的経緯を反映したものか、考えを述べなさい。
 - 2 NPOなどの非営利組織の運営の持続性に関して、どのような議論があるのか、多角的に論じなさい。
 - 3 超高齢社会が進み、高齢者の集いの場や通いの場(高齢者サロン)が注目されています。これらの場が果たす役割について、心と身体の両面を視野に入れながら、あなたの考えを述べなさい。

出題の意図

I

人間福祉やその関連領域における最新の動向やテーマについての志願者の専門的な知識・理解がどの程度か、また、そのテーマ・動向についての志願者の解釈や意見が論理的説得力と独創性をもって記述、展開されているかを問う。

II

人間福祉の3つの専門領域から1つ選び、それについて、志願者の専門的な知識・理解の程度、志願者の解釈に沿いながら論理的説得力と独創性をもって説明できているかどうかを問う。

解答（または解答例）

I

指定された文字数の範囲で、出題の意図に沿って、①志願者の専門的知識・理解の程度、②志願者の解釈の内容の正確さ、及び③自分の考えを論理的に、かつ④説得力をもって述べることができるか、あるいは⑤独創性が認められるかどうか否かを基準にして採点する。

II

人間福祉の3つの専門領域から1つ選び、選択した問題について出題意図に沿って、指定された文字数の範囲で、①志願者の専門的知識・理解の程度、②志願者の解釈内容の正確さ、③独創性、④論理性、及び⑤自分の考えを、説得力をもって述べるかどうかを基準にして採点する。